| 学校番号 | １０１２ |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地歴 | 科目 | 歴史総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 帝国書院「明解　歴史総合」 | | | | | | |
| 副教材等 | 帝国書院「明解　歴史総合ノート」 | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合は、世界史と日本史を合わせた科目というだけではなく、「近代化」「国際秩序の変化・大衆化」「グローバル化」について、資料を読んだり、比較したりして考える、ということを目標にしている科目です。基本的には、教科書や資料集、準拠ノート等、様々な資料を活用しながら学習します。１時間の授業において、様々な出来事の意義、現代とのつながりを考えながら授業を受けるようにしてください。世の中で起こっていることに関心を持ってください。現在起こっている出来事が歴史を結びついていることに気づくためにも、新聞やニュースなどを見てほしいです。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有 為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

・近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

・近現代の歴史の変化にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

・近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代の歴史の変化に関わる諸 事象について、世界とその中の 日本を広く相互的な視野から捉 え、現代的な諸課題の形成に関 わる近現代の歴史を理解すると ともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的 に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 近現代の歴史の変化に関わる事 象の意味や意義、特色などを、時 期や年代、推移、比較、相互の関 連や現代とのつながり等に着目 して、概念などを活用して多面 的・多角的に考察したり、歴史に 見られる課題を把握し解決を視 野に入れて構想したりする力 や、考察、構想したことを効果的 に説明したり、それらを基に議論する力を養う。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸 事象について、よりよい社会の 実現「視野に課題を主体的に追 究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考 察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が 国の歴史に対する愛情、他国や 他国の文化を尊重することの大 切さについての自覚などを深める。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 近代化と私たち | 1章 江戸時代の日本と結びつく世界 | a:１８世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と日本への影響について資料を読み取り、理解している<br>b:「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自らの言葉で表現している<br>c: １８世紀の世界交易が現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | グループワーク<br>レポート<br>課題<br>口頭発表 |
| | | 2章 欧米諸国における近代化 | a:市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。<br>b:市民革命及び産業革命の経緯などから諸改革の意義と現代社会とのかかわりを考察し、自らの言葉で表現している。<br>c:市民革命や産業革命が現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 3章　近代化の進展と国民国家形成 | a:国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。<br>b:国民国家の形成、発展による対外戦争や差別、抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自らの言葉で表現している。<br>c:国民国家や、帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | | | |
| | | 4章　アジア諸国の動揺と日本の開国 | a:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について資料を読み取り、理解している<br>b:「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連づけたりして考察し、自らの言葉で表現している<br>c:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容が現代社会に与えた影響と課題について理解しようとしている。 | | | |
| 2学期 | 近代化と私たち | 5章近代化が進む日本と東アジア | a:明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について資料を読み取り、理解している。<br>b:明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連づけて考察し、自らの言葉で表現している<br>c:明治維新やアジア諸国の変容が現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | グループワーク<br>レポート<br>課題<br>口頭発表 |
| | 国際秩序の変化や大衆化と私たち | 1章　第一次世界大戦と日本の対応 | a:国際関係の視点を軸に第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参加各国の社会の変化について資料を読み取り、理解している。<br>b:第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員、列強の非戦闘員、植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、自らの言葉で表現している。<br>c:勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | グループワーク<br>レポート<br>課題<br>口頭発表 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 2章　国際協調と大衆社会の広がり | a:ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治、社会、文化の変化について資料を読み取り、理解している。<br>b:新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自らの言葉で表現している。<br>c:ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、２０世紀前半における大雄夜会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | | | |
| | | 3章　日本の行方と第二次世界大戦 | a:世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアのかかわりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。<br>b:ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか、考察し、自らの言葉で表現している。<br>c:世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | | | |
| | | 4章　再出発する世界と日本 | a:冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連づけながら、資料を読み取り、理解している。<br>b:国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と囲碁の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、自らの言葉で表現している。<br>c:大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | | | |
| ３学期 | グローバル化と私たち | 1章　冷戦で揺れる世界と日本 | a:冷戦下の緊張と緩和の経緯とその中での日本の高度経済成長や脱植民地化を目指す動きについて資料を読み取り、理解している。<br>b:冷戦下の世界と日本の動向について政治m経済の関連や世地域間の比較を通して多面的に考察し、自らの言葉で表現している。<br>c:冷戦下における各国の動向が現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | グループワーク<br>レポート<br>課題<br>口頭発表 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 2章　多極化する世界 | a:冷戦下の１９６０年代から８０年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。<br>b:各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自らの言葉で表現している。<br>c:冷戦下における各国の政治的、経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | | | |
| | | 3章　グローバル化の中の世界と日本 | a:冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。<br>b:グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について、各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自らの言葉で表現している。<br>c:冷戦の終結とグローバル化の進展が現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度